



### 常任委員会の活動 総務文教常任委員会



無党派 山賀 清一

#### 認知症について

【質問】 高齢化が進み、全国で軽症重症患者数合わせて900万人、県内で約10万人。1万人以上の不明失踪者がいる。この徘徊者対策は十分と言えるのか。早期発見、早期治療で回復、予防可能と専門家は言っている。この点の介護ケア、支援は生ぬるい。家族は介護疲れのために負担が非常に大きく限界を超えている。もっと情報を共有し早く対応手当てするべきだ

【答弁】 当市でも急速に進行する高齢化に伴い認知症の早期発見、行方不明者を出さないための取り組みが重要になると考えて認知症相談の充実、認知症サポーター養成を強化する。当市に約2千人の認知症サポーターがおり自治会、職域等で講座を開催しサポーターの養成に努めている。市町村が主体となり地域づくりにより積極的に取り組む必要がある。

【質問】 日本の人口は33年間減り続け、産業の空洞化で経済に与える影響は、非常に大きく大打撃を受け、行政上、更には機能的な面にも大きく左右している。この点何から手をつけよう手立てを打つべきか。人口増対策に正面から向き合う本気度はあるのか。不登校、ひきこもり、認知症、学童クラブ、これまた増え続け、この件について空き家、廃校を有効利用し価値ある対策を大胆かつ徹底してやる覚悟と決意はあるのか。

#### 人口問題について

【答弁】 ご指摘のとおり大変深刻に捉え、大胆な施策展開も必要ではないかと受けとめているところ。少子化対策モデル事業の検討委員会を設置され、早急に対策が講じられる見通しである。積極的に施策を講じていく。若年世代の住宅取得促進などにも努力する。



#### 平成26年5月14日に所管事務調査を行いました。

##### 分田小学校耐震補強・大規模改造工事後の状況について

学校側から、「雨漏りや結露等で傷みのひどかった校舎が見違えるほど立派に改造され、子どもたちもいきいきとしています。」「工事中の騒音等に近隣住民が極めて好意的で、学校への住民の愛着が感じられました。」「上級生の使う教室が早く出来上がり、下級生を気の毒に思った上級生が教室の使用を譲るなど、子どもたちの精神的成長が見られ、教師の感動を呼びました。」等の話が聞かれ、耐震補強・大規模改造以外の面でも教育効果が伝わるような校舎改造であったように感じ、児童にとっても、環境面においても非常に良くなったという印象でした。

##### 災害危険箇所の状況について

JR羽越本線橋梁ほか阿賀野川災害危険箇所を視察し、駒林川改修事業の概要・進捗状況・今後の予定と土砂災害警戒区域について説明を受けました。

##### 閉会中の継続調査事項（9月定例会まで）

- (1) 支所の組織体制見直し後の状況について
- (2) 視察研修について

土砂災害警戒区域（土砂災害のおそれがある区域）は22地区82か所指定され、うち特別警戒区域（建物が破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれがある区域）は37か所（五頭山麓、国道290号・49号（小松・草水地区）方面に集中しています。



阿賀野川右岸築堤（小松地先）の説明の様子

### 常任委員会の活動 産業建設常任委員会

### 常任委員会の活動 社会厚生常任委員会

#### 平成26年5月12日に所管事務調査を行いました。

##### 気になる子の現状について

社会福祉課より気になる子の処遇改善補助金に関する経緯について説明を受けました。

各保育園への補助金に対して、制度化されて間もないことからその効果が検証されていないこと、気になる子の捉え方が各保育園においてばらつきがあり過ぎることなどから、抜本的見直しを含めた精査、検討を図りたいとのことでした。

児童相談係では、気になる児童や、育児がうまくいかない保護者等の早期発見と早期支援が図られるように、保育園、幼稚園を3か月に1回定期巡回訪問し各園の相談等に対応しているとのことでした。

また、市社会福祉協議会こどもことばとこころの相談室からは、気になる段階の子ども、発達障害についての状況等の説明を受けました。

委員会としては、気になる子に対する支援は重要であると受け止めているが、各保



育園の気になる子の捉え方のばらつきが見られることに対し、補助金を交付している以上、支援体制、効果等の追跡調査は必要であり、そのデータを精査しながら支援を図るべきであるとの意見でした。

##### 閉会中の継続調査事項（9月定例会まで）

ごみ処理広域化の進捗状況について

#### 平成26年5月15日に所管事務調査を行いました。

##### 商工観光課所管の公園、施設等の管理状況について

○天朝山公園（市管理施設）  
現地調査時は枯れ木が目立ち、山羊による除草や動物との触れ合いによる天朝山にぎわい創出事業に取り組むとのことですが、枯れ木の倒木や枯れ枝の落下による危険性があり、早急な対応が必要です。

この公園は、旧市島家による救農事業として創設された人工の丘で、明治維新直後には新潟県庁が置かれた歴史的遺産であり、観光の視点や中心部に位置していることから、市民の憩いの場としても有効活用されるよう、整備や施策を講ずるよう要望します。

○五頭山麓（指定管理施設）  
ゆうきふれあい即売所と宝珠温泉保養センターあかまつ荘（指定管理施設）

両施設とも本年4月より新たな指定管理者によって管理運営がなされ、それぞれの指定管理者から施設運営に当たっての方針や取り組みの状況について説明を受けました。



五頭山麓うらの森



宝珠温泉あかまつ荘

##### 閉会中の継続調査事項（9月定例会まで）

公共下水道事業の進捗状況について